



「80歳代を目前に、支部長に就任しました」

理事・神戸西部支部支部長 森脇 英雄

組合員の皆さん、こんにちは。お元気でお過ごしでしょうか。

私は昨年6月末に、兵庫県高齢者生活協同組合の理事と神戸西部支部の支部長という要職に就くことになりました森脇英雄と申します。

年齢的にも80歳代を目前にして、いくつかの役職も辞退しようか考えていたときに、逆のこととなりました。

一昨年までの4年間、神戸市選挙管理委員会の職に就いた後、去年はコロナ禍が襲うなか、かたつない長雨に猛暑と高齢者にとって、とんでもない日々が続きました。11月下旬からコロナ感染は再び強力に広がりを見せています。

今年、阪神淡路大震災から26周年です。全国からの救援で神戸は立ち上がりました。板宿でも震災の翌日から3月まで救援活動を続け、その記録を当時に写真集「ともに助け合った日々」(右写真)にしました。必要な方は差し上げます。



市議員時代からの板宿市場の事務所も引き続き役に立てようと思っています。

支部組合員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

お年寄りに一声かけよう。「困っていることありませんか」

神戸西部支部役員 市村 忠司

いつ終息するのか先行き見えないコロナ禍。頼る人のいない一人暮らし高齢者は不安な毎日を過ごしています。

マスク、手洗い、距離をとれ、三密を避ける。

外出ひかえて「自粛」、「自粛」で心も体もなえてしまいました。

私が住んでいるマンションでは、高齢者生協組合員の二人が中心になって、「自主防災会」をつくりたすけあい。一人暮らし高齢者ら18人を10人の比較的若いサポーターが毎月声掛け、訪問活動を行っています。心細い思いの高齢者に温かい思いやりが大きな励ましになっています。

「おしゃべりカフェ」に参加して、心と体をリフレッシュしましょう

◎毎月第1金曜日 14時～15時半

- ・高齢者生協長田事業所内の部屋を使つての、ゆる～い集まりです。(長田区大橋町9-4-6大橋西ビル1階)
- ・参加費：200円

★2月は、「南京玉簾」

どなたでも参加していただけます。

【問合せ・参加申込み先】

080-3776-7979 (川路)

コロナ禍における運動と事業について

神戸西部支部副支部長 赤木 謙太

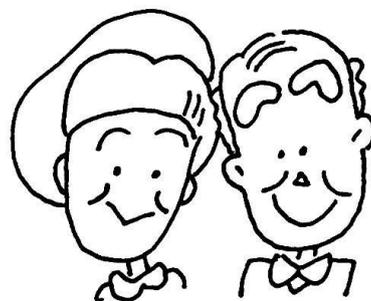
昨年、神戸西部支部でも、支部委員会の中止やサークル活動の休止のほか、10年以上続けてきた「バスツアー」を春、秋と続けて中止にしました。介護事業も減収を余儀なくされていると報告を受けています。相変わらず人手不足にも悩まされているようです。全国の介護事業所の倒産も9月までで既に94件を超え、過去最高の年間倒産件数の見通しらしい。

これらの原因があいつぐ介護報酬減算にあることは明白です。新しい菅内閣総理大臣も「自助、共助、公助」と言い、「まずは自助を」と政府の責任を後回しにしています。3年に1度の「介護報酬改定」の議論が昨年12月に取りまとめられました。今こそ基本報酬の大幅な増額を求め組合員全員で「大きな声」にしようではありませんか。コロナ禍で運動も事業も困難が横たわっていますが、事業の継続発展、介護職員の賃金向上、処遇改善のためには「基本報酬増額」以外にはないのだと肝に銘じて運動化しましょう。

感染症予防を徹底し、ご利用者が楽しく過ごせるよう奮闘

いきいきサロン統括管理者 福田 朝美

いきいきサロンは昨年の3月から3か月間活動中止となり、再開後は中止前までとは程遠い運営方法となりました。食事禁止・参加人数の制限・歌唱禁止・マスクは常時着用…と色々な運営上の制約に則り各スタッフは対応してくれています。その中でも重要な作業は清掃と消毒、換気です。毎朝ご利用者の皆さんが来られる前に窓を開け放ち、配置したテーブルとイスを一つずつアルコールで拭き上げ、手指用洗剤と消毒液を準備し、トイレや洗面所など全ての消毒作業を行うので、夏は汗をかきながら冬は寒さに耐えながら、朝から目まぐるしく動いています。サロン終了後も同様の作業を行います。



1月からは中止されていた昼食が再開となりました。これまで以上に消毒などの徹底をしてご利用者の皆さんが少しでも長くお元気に通って頂けて、楽しく暮らしていけるお手伝いを心掛けていきます。

【※いきいきサロン】：神戸市委託事業・地域拠点型一般介護予防事業。高齢者生協では長田区で6か所実施しています。須磨区でも新たに実施を検討中（未受託）。

【支部ニュース発行にあたって】

「委員会が毎月開かれていることを組合員に知らされていない、支部活動を発展させるためにも伝えていこう」。支部委員のこの思いが支部ニュース発行に結び付きました。

神戸西部支部は、長田区、須磨区、垂水区、西区を含める大きな支部です。組合員の暮らしの困り事や要求も一様ではありませんし、その把握もできていません。ニュースにはそういった組合員の思いを載せて組合員と共有し、委員会でも話し合っただけで支部の取り組みにしていこうと考えています。発行は毎月、しかしコストはかけないために支部役員のネットワークのなかで発行物に折込んでもらう、郵送物に同封してもらうことにします。作業については、ひとりに集中しないように支部委員会内で役割分担して継続発行できるようにしていきます。

このニュース発行によって委員会の発展と新たな委員（組合員）を迎えたいと考えています。